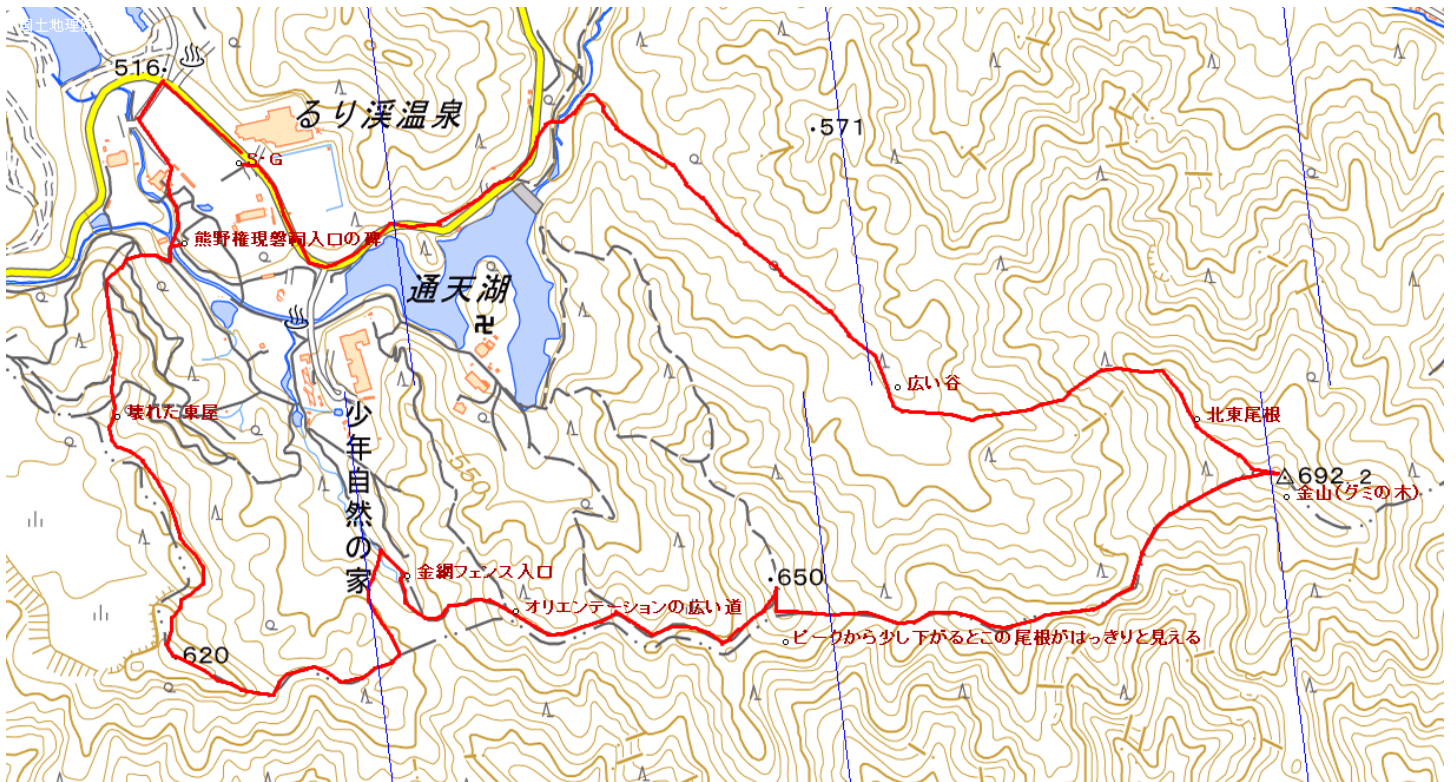


## るり溪 金山 (グミの木) 2020・11.28

### 【コース】

るり溪・ポテポテパーク⇒「熊野権現磐祠」石柱付近登山口 (9:30) ⇒P620m⇒P650 (11:17) ~ 昼食 (?) ⇒P650⇒金山 (12:56) ⇒北西尾根⇒北西の広谷⇒るり溪⇒通天湖 (14:10) ⇒るり溪温泉 (14:24) (メンバー 4名)



この金山は昭文社「北摂・京都西山」の地図によると亀岡市と南丹市の境界線上に位置し、深山への登山口辺りで反対側の尾根の端に乗りました。しかし、歩いて、歩いてフェンスに阻まれ、進むことができません。尾根とピーク 620m ははっきりとわかるのですが。仕方がないので、ポテポテパークまで戻り、登山口を探すと、水車のよこの小さな橋を渡った所に「熊野権現磐祠」の立派な石柱が立ち、そこが登山口。ここにたどり着くまでに 40 分位ロスタイムでした。

金網のフェンスを開け、支尾根に取りつき、主稜線に出ると広い道が付いていて、歩くこと数分で巨岩が見え屋根が落ちた東屋に遭遇。祠らしきものはどこにも見当たりません。この後にもなかったのがここが「熊野権現磐祠」と推定しました。



(朽ちた東屋)

東屋から 620m 先までは金網フェンスが張り巡らされ、道らしきものはついていません。フェンスの中はバブルがはじけ、宅地開発が頓挫した跡地に、太陽光発電所のパネルが並んでいました。

P620 を降りると広い谷に出たので、休憩を兼ねて、コース確認。山を巻くようにして登り、谷に下りていくと少年自然の家からの谷道に合流。金網を開けて登っていくとオリエンテーション道に合流し、P650mまでは広い道でした。P650 で金山方面をコンパスで確認。しかし、その方向に道らしきものは見つかりません。とりあえず、オリエンテーションの道を下れば金山への道が出てくるものと勝手に思い込み、歩くも見つからず。地図で確認するとこのまま進めば通天湖に下りてしまうので、P650 に戻ることに。その前に、昼食を摂って一息つきました。



( P650m )

P650 に戻り、境界石の立っている付近に小さな膨らみがあったので、見下ろすと立派な尾根が下に延びています。コンパスは正直です。そこから金山までは歩きやすい道でした。山頂は見通しが悪い所で「川西・美山ハイキングクラブ」の作った標識がぶら下がっていました。



金山

(グミの木)

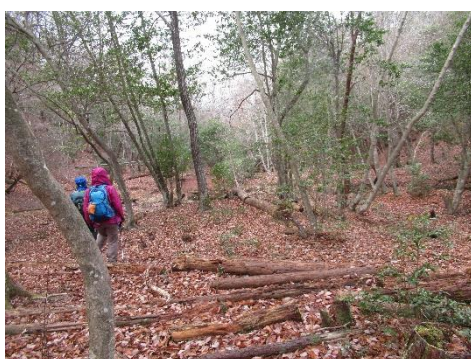


金山で下山する北西方向に延びる尾根にコンパスを当て、無事広い谷に出ました。ゆったりとした、気持ちの良い谷で、炭焼き釜跡が何か所か残っていました。へっぴり腰で入り溪をわたり、通天湖に沿ってしばらくすると駐車場に到着。時間があったので、コーヒータイムをして帰路に着きました。今回はスマホの電池切れで、久しぶりに地図とコンパスで読図を行い、楽しい山行でした。

(記・Sasaki)



(炭焼き釜跡)



(広い谷を行く)



(通天湖)